

「茨城県立玉造工業高等学校 グランドデザイン」 令和3年度

校訓 至誠・勤勉・協和	本年度重点目標 ・わかる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。 ・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。 ・中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。	いばらき教育プラン 一人一人が輝く 教育立県を目指して ～子どもたちの自主性・自立性を育もう～
---	--	--

育てたい生徒像	目指す学校像
・規律ある工業人としての態度。 ・ものづくりの基礎的・基本的知識・技能の習得。 ・互いを認め合い、仲間と協働して、課題を解決する力。	・校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能及び技術を習得させる。 ・すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。 ・社会の発展に寄与する産業人を育成する。 ・安全・安心な学校づくり。

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本 ・基礎学力の向上を図る。 ・ICTを利用した、探究活動。 ・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る。 ・学校の教育活動全般をとおして、キャリア教育の充実を図る。 ・部活動や特別活動を充実させる。 ・地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。	「教科横断的な指導」 「社会に開かれた教育課程」	何が身についたか ○学習評価を通じた学習指導の改善 ・教科内研修を充実させ、わかる授業の展開。 ・タブレット端末を利用した学習活動の充実。 ・挨拶の励行と、校則の遵守。 ・学科選択ガイダンスの充実。インターンシップへの参加等。 ・生徒会活動の充実。部活動加入率のアップ。 ・学校行事を通して地域や保護者と交流する。広報活動の充実。
---	-------------------------------------	---

生徒の実態 ・基礎学力が低く、学習習慣がない。 ・遅刻、欠席が多く生活習慣の乱れ。 ・進路意識が低く、目標が決まらない。	生徒の発展をどのように支援するか 朝学習の充実 個に応じた指導（習熟度別） 進路ガイダンス 職業講話	目指す生徒の姿 ・遅刻、欠席が少ない生徒。 ・家庭学習など学習習慣の確立。 ・目的意識と進路希望の実現。 ・部活動、ボランティア活動に積極的に取り組む。
--	---	---

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働 ・1年次習熟度別学習。 ・「朝学習」時間の設定。 ・学びの基礎診断の実施 ・著名人による講話の実施。 ・進学模試の実施。 ・各種検定試験の指導。 ・教育相談体制の充実（スクールカウンセラー）。 ・マナーアップ運動の実施。バイク講習会の実施。 ・進路ガイダンスの実施。インターンシップの実施。 ・デュアルシステムの実施と大学研究室インターンシップ。 ・課題研究全校発表会の実施。 ・ものづくりコンテストへの参加。 ・地域交流事業の実施。 ・部活動の活性化。HPへの掲載。
--

安心・安全を守る ・通学時の事故ゼロを目指す。 ・地震・火災・不審者等の緊急時に安全に避難する。 ・工業科の授業・実習での事故ゼロを目指す。 ・薬物乱用防止講話。	開かれた学校づくり ・学校行事の保護者参加と地域への公開。 ・異種学校間交流（小学生ものづくり教室、幼稚園児の工業高校体験） ・行方市の各種行事にボランティア参加。 ・課題研究発表会の公開。 ・玉工通信の発行とHPの充実。
--	---